

2024 年度夏の三者総会 議事録

2024 年 8 月 22 日

概要

本総会は、2024 年 8 月 22 日（木）に国立オリンピック記念青少年総合センターにて開催されました。

1 2024 年度予算案

予算案は承認されました。

2 研究会パートの割り振り変更についての議案

本議案は取り下げとなりました。以下にこの提案に対する質疑応答のやり取りをまとめます。

・QCD をしている人でも現象論寄りの人がいると思いますが、それらは自動的に原子核の方に振り分けられるのですか？

—はい

—しかしそれだとパラレルセッションの話と組み合わせると、夏の学校の参加者のうち現象論の人は比較的 th の人に比べて少ないような気がするので、アンバランスになるように思いますが、そちらについてはどうお考えですか？

—今年はそこまで考えていなかったが、実際今年試してみてもややアンバランスな点が目立ちますので、今年の運用実績を考慮しつつ、今後改善していきたいです。

・パート準備校が参加者のアブストを見て振り分けるということですが、参加者が自分で選ぶというのではダメなのではないでしょうか？

—そうすることも考えましたが、M1 などの研究を始めて間もない方が多くいらっしゃる中で、自分の研究テーマがどれか分からないのではないかという懸念があったので、運営側で判断しようという方向で考えました。

・アブストを読んで運営側が振り分けを判断するということになると、少なくともパート準備校が全部の分野についてどう分類すべきかを把握している必要があると思いますが、これは恣意的な運用にならないか心配です。

—ご指摘頂いた通り、例えば素粒子でも、その分野の全ての内容について知っているとは限らないので、そこは修正したいと思います。

—だとするならば、参加者自身で選ぶほうがまだ良いと思います。

—運営側の負担を考えると、参加者が指導教官と話し合っただけという形の方が良いのかなと思う気がするので、その点は修正していこうと思います。

・今年は今回議案の出ている内容で割り振る必要があるくらい人数が多かったのですか？
また、来年はそれくらい人数が多くなる見込みがあるのですか？

—今年に関しては、参加登録の段階で絶対に必要だったのかどうかは分かりません。また、予想以上に原子核の人が多くなってしまいましたが、少なくともパラレルセッションの効果はあったと思われます。実際これにより素粒子パートで発生していた長時間の研究会は改善されました。

・今回の参加登録フォームでも、発表内容が素粒子か原子核かという選択肢はあったと思いますが？

—それは参加登録時に運営側の負担を軽減しようということで導入されていたものなので、アブストを運営側で振り分ける前提で入れられていました。その選択肢の部分に QCD や th や ph というのを追加し、分類分けはその選択肢に基づいて行うという案に修正しようと思います。